

社協だより

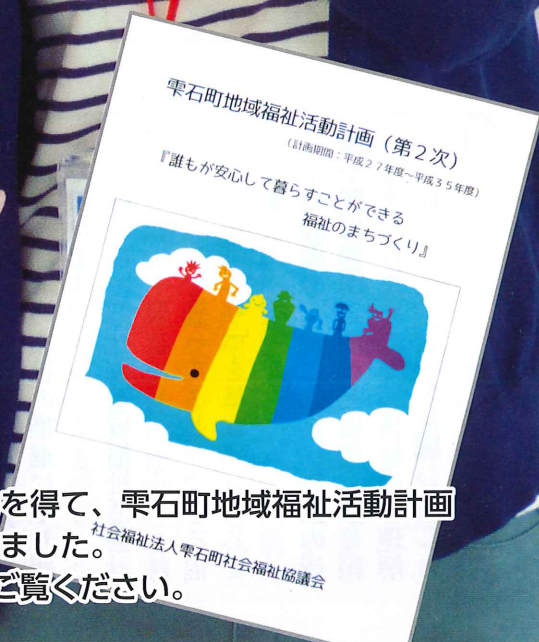
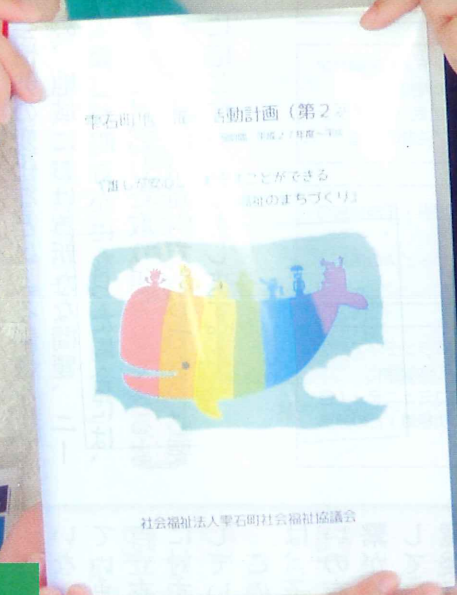
2015.6.11

76号

雫石町社会福祉協議会

～誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり～

地域福祉活動計画
(第2次) 完成!!



町民皆様のご協力を得て、雫石町地域福祉活動計画
(第2次) が完成しました。
詳しくは、P2をご覧ください。

も く じ

- ◆雫石町地域福祉活動計画 (第2次) 策定……………2～3 P
- ◆平成26年度歳末助け合い募金運動結果報告……………4～5 P
- ◆第38回雫石町社会福祉大会 受彰者紹介……………5 P
- ◆まちの福祉……………6 P
- ◆西山保育園だよりVol.14 ……7 P
- ◆お知らせ……………8 P

栗石町地域福祉活動計画（第二次）が策定されました。

会長 挨拶
 目 時 大 堂

近年、少子・高齢化や核家族化の進展、人口減少等の要因による住民同士の支え合いや助け合



いなどの相互扶助機能が弱まってきています。一方で、高齢者の介護・自立支援、災害時の支援など、福祉に対するニーズは、多様化・複雑化しています。

このような情勢のもと、町社協では、子どもからお年寄りまで、障がいの有無にかかわらず、人と人との繋がりを大切にした取り組みを展開しています。行政をはじめ、民生児童委員協議会、地域コミュニティ、ボランティア団体など多くの方々と協働し、地域の福祉の推進に取り組んでおります。

このたびの町社協地域福祉活動計画（第二次）策定においては、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を基本理念としています。この計画の実現に向け、町民の皆様や関係機関・団体と協働し取り組み、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

計画の期間

この活動計画の期間は、平成27年4月から平成36年3月までの9年となります。ただし、関係法・制度の改正や社会情勢の変化などによる影響をはじめ、地域における新たな問題、ニーズなどが明らかになった場合には、状況に対応した取り組みができるように、計画期間内であっても、必要に応じて見直しをします。

計画の位置づけ

社会福祉法第107条において、地域福祉を積極的に進めていくために、市町村が「地域福祉計画」を策定することが定められています。「地域福祉計画」は、市町村が策定する事業目標の理念・仕組みを明確化した行政計画です。一方、「地域福祉活動計画」は、町社協が策定する具体的取り組みを示した民間計画です。

町と町社協は、協働して地域の課題を把握し、解決していかなければなりません。計画としては別々のものですが、当町における地域福祉を推進するという目的は同じです。この共通の目的に向かって、これら二つの計画がいわば車の両輪となって町における地域福祉を進めていくことができるよう、町と町社協がお互いに連携して、計画を策定しています。

第二次栗石町社協地域福祉活動計画体系

基本理念	基本目標	基本計画
誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり	1. みんなが安心して暮らせる地域づくりの推進	1-① 地域福祉の啓発・福祉教育の充実 1-② 地域における生きがいづくりや交流の場づくり 1-③ 地域資源の活用
	2. 住民の積極的なボランティア活動の推進	2-① ボランティア活動センターの周知 2-② 地域住民へのボランティア活動の推進
	3. みんなが安心して利用できる福祉サービスの充実	3-① 情報提供・相談体制の充実 3-② 福祉サービスの周知・充実
	4. みんなが安全に暮らせるまちづくり	4-① 災害ボランティアセンターの体制強化 4-② 地域コミュニティ（自主防災組織）との連携強化

地域福祉活動計画とは

地域福祉活動計画とは、住民の皆さんがこんな町にしたいという意見を基に作成した計画であり、その計画を達成するために住民一人ひとりが、どのような活動に取り組めば良いのかをまとめた行動計画です。

計画の策定にあたっての趣旨

町社協はこれまで、社会福祉法で位置づけられた地域福祉の推進の中核的な役割を果たす団体として、社会福祉事業を展開してきました。町民が抱える多種多様な福祉課題を把握し、子どもから高齢者まで、年齢や障がいの有無、性別などの違いに関わらず、誰もが住み慣れた地域で、安心して生活を送るためにも、地域における支え合い、助け合う力を高めていくことが一層必要とされています。

以上のことから町が策定する「町地域福祉計画」を受けて、行政と町民が役割を分担し、共に地域福祉に取り組む方法を明らかにするため、町社協が中心となり、策定委員会（表①）を組織し、計画を策定しました。

第1回策定委員会

開催日 平成26年12月3日（水）
 会場 町総合福祉センター
 （以下、策定委員→策・社協→社）

策 町社協の活動とコミュニティ組織とが協働して、活動を行うってはどうか。

社 町社協としても、地域の情報が必要であるため、コミュニティ組織とお互いに連携して、地域福祉の向上を図っていききたいと考えております。

策 町社協では、多くの地域福祉事業や相談事業を行っているのがわかった。平成25年8月9日の豪雨災害で社協の活動を知った方が多いと思うが、もっと社協の取り組みを周知する必要があるのではないか。

表① 栗石町地域福祉活動計画策定委員会の構成委員

役職名	氏 名	選出団体等
委員長	伊藤 萬	町地域コミュニティ組織連絡協議会（御所）
副委員長	細川 仁	町地域コミュニティ組織連絡協議会（栗石）
策定委員	田原 浩志	障がい者団体
策定委員	諏訪 泰幸	栗石商工会
策定委員	佐々木 秀子	J A新しい女性部栗石支所
策定委員	岩持 斗季子	町婦人会
策定委員	根澤 早苗	町民生児童委員連絡協議会
策定委員	菅原 浩樹	町内学校
策定委員	長小 田記	町内保育園
策定委員	三輪 大	町PTA連絡協議会
策定委員	茅橋 昭男	町地域コミュニティ組織連絡協議会（御明神）
策定委員	岡 森 篤	町地域コミュニティ組織連絡協議会（西山）
策定委員		町役場福祉課企画グループ

栗石町地域福祉活動計画が策定されるまで

①町内各4地区にて「町地域福祉活動計画策定に係るワークショップ」を開催

地域の課題・お宝等たくさんのご意見を頂戴する。

②「ワークショップ」で頂戴したご意見を基に「町地域福祉活動計画策定委員会」を開催

福祉課題の整理や福祉活動推進のため、計画の実施内容について、検討を行う。

③「町地域福祉活動計画」の完成

社 現在、各事業の開催時に、行政区長配付を通じて、町内各世帯に開催チラシを発行しています。また、「ぼらっと」や「社協だより」等で、新鮮な福祉の情報をお届けしております。今後は、ホームページや社協のブログを活用し、各事業の募集や活動報告等に力を入れています。



様々な意見が出されました!!

第2回策定委員会

開催日 平成27年3月4日（水）
 会場 町総合福祉センター
 （以下、策定委員→策・社協→社）

策 学校の統合化がされた際の、空いた施設について、老人クラブや福祉団体等で利用することはできないものか。

策 栗石町の福祉ブランドを作製してはどうか。高齢者や障害者等、携わる人すべての生きがいづくりに繋がるのではないか。各地域での福祉活動を広く展開



策定委員会の様子

策 民生委員一人で、複数の行政区を管轄するのは、情報収集などの問題から大変であるため、活動の補助を行う仕組みを検討する必要があります。

策 地域コミュニティと民生委員が連携した活動ができれば、より良い地域福祉活動ができるのではないかと。

策 各地域で災害に対応する取り組み・仕組みがあるのはいいことだと思うが、常に各地域での確認・訓練が必要だと思う。

策 「福祉」は、利用者の立場にならないと、基本的に関心を持つ人が少ないと感じる。

策 この計画は、9カ年計画となっているが、見直しはいつ行うのか。

社 計画期間内であっても、必要に応じて見直しを行います。また、3年ごとに計画の見直しを行います。

平成26年度歳末助け合い大口募金ご寄付の方々（敬称略）

【50,000円】 青湖苑カルチャー発表会 【30,000円】 社団医療法人鶯宿温泉病院 栗石医科歯科会 【20,000円】 栗石町ゲートボール協会 在京栗石町友会 【10,787円】 栗石町立西根小学校児童会 【10,000円】 盛岡セイコー工業株式会社 松ぼっくり 沼田歯科クリニック 岩手大崎電気株式会社 岩井建設株式会社 株式会社イクスル 株式会社東北工商 介護老人保健施設はーとぽーと栗石 株式会社昭と土木設計 北光コンサル株式会社 株式会社ビルド遠藤 三八五観光株式会社盛岡支店 新日本設計株式会社	株式会社武田菱設計 すてきな作業所のチャリティーバザー実行委員会 株式会社中村建設 株式会社しずくいし 株式会社興和電設 株式会社グリーン・ベネフィット 株式会社佐々木組 株式会社吉田測量設計 有限会社吉田塗装工業 株式会社丸恵電業 株式会社振興設備設計 有限会社中孫商店 株式会社寿広 【5,000円】 東北体育施設株式会社 仙建工業株式会社盛岡出張所 栗石町シルバー人材センター 小岩井農牧株式会社小岩井農場 小岩井乳業株式会社小岩井工場 休暇村岩手網張温泉 新岩手農業協同組合栗石支所 岩手建工株式会社栗石営業所 有限会社丸水工業 株式会社リードコナン	株式会社岩手ナブコ 株式会社白ゆり 株式会社ダイトク 株式会社NIPPO 株式会社ケーエヌ工業 【4,684円】 栗石町立安庭小学校児童会 【3,000円】 ホテル加賀助 有限会社なかゆ食品 有限会社栗石タクシー ホテル森の風旅館 長栄館 伊藤建設株式会社 有限会社瀧沢重機建設 十二林吹付塗装 【2,000円】 有限会社上中屋敷重機 株式会社富士電業社 一般社団法人岩手県薬剤師会 マルエス工業株式会社 【1,000円】 栗石地区防犯交通安全協会
---	---	---

平成26年度歳末助け合い募金運動結果 報告

総額 3,368,741円

町民の皆様の心温まるご協力
本当にありがとうございました。



皆様よりお寄せいただいた募金は、長期にわたり、在宅で介護を必要とされる方や生活にお困りの方々等へ、各地区民生委員・児童委員さんを通じて、12月末に激励金としてお贈り致しました。また、今回ご協力いただきました募金は、平成27年度、栗石町の福祉の発展・向上のための福祉活動資金として活用させていただきます。

皆様のおかげで、栗石町の福祉活動資金に活用させていただきます。

皆様のおかげで、栗石町の福祉活動資金に活用させていただきます。

寄付金実績額	3,368,741円
(内 訳)	
行政区別募金【4,227世帯】	2,044,041円
大口（企業）募金【59社】	518,000円
歳末助け合いチャリティーショー益金	791,220円
学校募金【西根小学校・安庭小学校】	15,471円
預金利息	9円
配分額	2,178,000円

(内 訳)	
歳末助け合い激励金配分金	2,008,000円
歳末助け合い募金運動事務費	170,000円
※差引残金 1,190,741円は、平成27年度の岩手県・栗石町の福祉活動資金に活用させていただきます。	

平成26年度歳末助け合い募金配分額（平成27年3月31日現在）

対象者項目	栗石地区	御所地区	西山地区	御明神地区	合計	金額	配分額
在宅重度障害（児）者	32人	13人	22人	18人	85人	255,000円	@3,000
認知症老人介護世帯	1世帯	3世帯	6世帯	6世帯	16世帯	48,000円	@3,000
生活困窮世帯	74人	50人	46人	46人	216人	1,615,000円	@5,000×人数+5,000×世帯数
栗石町身体障害者福祉協会						30,000円	
精神障がい者団体						30,000円	
福祉作業所かし和の郷						30,000円	
共同募金事務費						170,000円	
計	659,000	438,000	429,000	392,000	1,918,000	2,178,000円	

行政区募金で二千元以上のご寄付を頂いたの方々（敬称略）

≪ 100,000円 ≫ 太田 司 ≪ 20,000円 ≫ 臨在寺 目時 大堂 永昌寺 藤本 達也 ≪ 10,000円 ≫ 篠村医院 篠村 達雄 広養寺 平井 正道 ≪ 6,458円 ≫ 太田 正 男 ≪ 5,000円 ≫ 伊藤 秀 輝 佐々木 利 之 篠村 五 雅 諏訪 勉 志 土樋 博 志 デサービスセンターにこトピア栗石 徳田 一 夫 晴山 定 雄 古舘 謙 護 堀合 宗 甫 四ツ家 正 榮 ≪ 3,500円 ≫ 上澤田 作 実 ≪ 3,000円 ≫ 浅田 寿 一 安達 強 剛 上野 剛	上野 宏 大村 悦 正 小田 信 雄 茅 橋 聰 北光電機（株） 木村 稔 小塚 典 子 清水端 文次郎 高橋 新 八 高橋 洋 二 武田 長 榮 堂前 新 一 栃内 真理子 中村 隆 夫 中村 正 彦 中屋敷 雅 彦 葉上 好 美 廣瀬 幸 男 深谷 詩 子 藤澤 金 吾 藤村 正 彦 細川 行 輝 細川 正四郎 松尾 勝 男 三浦 孝 之 南野 久 米 大和 定 四	山本 勝 横手 義 美 吉井 主 税 米澤 ヨシ子 ≪ 2,300円 ≫ 柏木 哲 ≪ 2,111円 ≫ 原 誠 ≪ 2,014円 ≫ 横手 信 行 ≪ 2,000円 ≫ 石塚 英 明 石塚 美 通 五日市 泰 泰 岩持 実 太田歯科技工所 大村 直 榮 階 静 子 櫻田 章 夫 佐々木 克 美 佐々木 宗一郎 澤藤 紀久子 下田 裕 紀 杉田 英 紀 関 敬 一 高橋 勝 三 高橋 健 治 高橋 長 悦	田中 秀 雄 千葉 幸 作 千田 一 士 徳田 忠 雄 徳川 泰 夫 中川 八ツエ 長坂 勝 記 中原 サチ子 中田 雪 雄 沼田 容 子 沼田 康 三 畠山 省 正 藤原 恒 子 藤三 浦 市 南野 征 朗 向井 繁 子 村上 あさよ 八重樫 武 子 谷地 アサ子 築場 弘 友 山口 淳 光 横田 孝 志 横手 勝 夫 吉田 勝 夫 (有)木文商店
---	---	--	---

『第38回栗石町社会福祉大会』受賞者紹介

平成27年2月21日（土）、町総合福祉センターにて、「第38回栗石町社会福祉大会」が開催され、式典が行われました。多年にわたり社会福祉の向上に尽力し、受賞された方々を紹介いたします。

栗石町社会福祉大会会長表彰《社会福祉事業功労者 8名》

13年の長きにわたり、町民生委員児童委員として、地域住民の福祉増進に努めた功績。



根澤 早苗氏 (片子沢)



小松 郁人氏 (盆花)



桐山 貞夫氏 (七区)



沼尻 洋一氏 (黒沢)



町場 洋一氏 (和野)



大橋 馨氏 (土橋)



小田 由美子氏 (小松)



高木 優子氏 (滝沢市)

昼食サービスボランティアとして、14年の長きにわたり、町内の高齢者世帯等への安否確認を行いながら、利用者へ安心安全な昼食を提供してきた功績。

栗石町社会福祉大会会長表彰《在宅介護功労者 1名》

多年にわたり、身体的な介護を行い、在宅介護の大切さを身をもって示した功績。



熊谷 友里氏 (駅前)

栗石町社会福祉大会感謝状 1名

多年にわたり、歳末助け合い募金運動に多額の寄付をした功績。



太田 司氏 (林)

このひとに聞く!

ふ だんの く らしの し あわせ

こちらは町内の方に福祉について考えていること
感じていることをインタビューするコーナーです

●町について思うことは?
雲石町には、美味しい食べ物がたくさんあると思います。仕事柄、農家さんと接する機会が多く、様々な農作物をいただくことがあります。いただいた農作物を口にしたとき、「美味しい」の一言しかでてきませんでした。農家さんが愛情込めて育てた農作物を美味しくいただけることは、雲石町の魅力だと思います。

●福祉について考えていることは?
正直なところ、福祉について考えたことはあまりありません。私ができることは、農家さんが美味しい農作物を生産できるよう、農家さんに寄り添い考えていくことです。

今後、子どもたちに地元で愛情いっぱい育てられた農作物の素晴らしいさについて、食や農業体験を通して伝えていきたいと考えています。その活動が子どもたちに地元への愛着を育て、雲石町の後継者作りにもつながっていくと思います。



地元を守るため、車両の点検を行う
荒屋敷さん



あやしき ひろあき
荒屋敷 裕明さん (24歳・滝沢)

プロフィール

高校時代、農業全般について学び、普段、家族が普通に行っている仕事の大変さを実感する。徐々に、農業に関する知識・経験を高めていく。

大学卒業後は、団体職員として、農業に携わる仕事を行っており、農業に関する知識・技術を磨いている。

趣味は、海釣り。

寄付金

やさしいまごころを
ありがとうございます
(平成27年1月から5月までの間に、寄せられた寄付について、お知らせいたします。)

○NPO法人しずくしいし

代表 土橋 幸男 様

150,000円
(福祉のために)

○雲石町郷土芸能伝承活動細川会

代表 細川 チエ子 様

100,000円
(福祉のために)

○曹洞宗盛岡一九会 様

39,285円
(福祉のために)

社協新入職員紹介

平成27年 採用された職員を紹介
します。

みなさんよろしく願います。



町社会福祉協議会
事務職員
村上 愛さん



町社会福祉協議会
嘱託職員
武田 莉佳さん



西山保育園
保育士
中沢 香苗さん

編集後記

新しい福祉の情報をお届けするのが、社協だよりの役割なのですが、町民の皆様への報告が遅くなってしまう、反省しております。

次号は、しっかりとした編集計画をたて、お知らせしていきます。福祉に関する情報があれば、どんなにお寄せ下さい。(外)

平成26年度日赤社資・赤い羽根共同募金最終金額のお知らせ

社協だより第74号・第75号にて、町民の皆様にご報告いたしました標記について、追加のご協力がございましたのでご報告いたします。皆様のご協力ありがとうございます。

①平成26年度日赤社資運動実施結果

・ヒラコ・プランニング 様 総額 2,506,900円
50,000円

②平成26年度赤い羽根共同募金運動結果

・自動販売機設置募金(町内2カ所) 9,595円 総額
・募金箱設置募金(町内4カ所) 3,664円 2,451,035円